

令和2年度第2回 優良品種・技術評価委員会 議事概要

日時： 令和3年1月 27 日(水) 14:00～16:00

方法： オンライン開催(農林水産研究情報総合センター契約の AdobeConnect 使用)

出席した委員(五十音順、*:委員長)

石栗 太、大森 龍一、上 練三*、齋藤 正、高橋 誠、蓬田 英俊

事務局

倉本 哲嗣、山野邊 太郎

議事概要

・ 申請のあった品種の評価について

マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ品種として1系統(林木育種センターと千葉県の共同申請)、無花粉スギ品種として11系統(東京都・富山県・神奈川県・静岡県・林木育種センターによる共同申請が1系統、富山県・東京都・林木育種センターによる共同申請が10系統)、無花粉遺伝子を有するスギ品種として1系統(富山県)および木質バイオマス生産量の大きいヤナギ品種として17系統(北海道育種場)の合計30系統について、申請内容の是非が検討された。いずれも基準を満たしており、申請のあったすべての系統が優良品種として評価された。

なお、委員からは無花粉スギ品種について、主たる改良形質である雄花不稔性以外の特性について質問があった。事務局からは、無花粉スギ品種の保有する特性のみでなく、花粉親として使用する無花粉遺伝子を有するスギ品種が保有する特性や遺伝的多様性も加味して、林業用種苗として適した無花粉スギ苗生産が行われることを想定している旨を説明した。

以上